



令和3年3月22日

安倍川・大井川水系の流況が改善したため、 両河川の渇水対策支部を解散します。

1. 概要

昨年12月4日より静岡河川事務所と長島ダム管理所では、大井川渇水対策支部を設置し、昨年12月10日より静岡河川事務所では、安倍川渇水対策支部を設置し河川流量等の監視を強化してきました。この間、1月15日から3月22日まで、大井川から取水している上水道、工業用水及び農業用水の取水制限が実施されてきました。

長島ダム管理所では、河川の正常な機能の維持を目的とした長島ダムからの放流をのべ14日間（2/22～3/3、3/9～3/12）実施し、河川環境の改善に寄与しました。

この度、3月21日の降雨により、両河川共に流況が回復したこと、大井川で実施されていた取水制限が解除されたことから、静岡河川事務所及び長島ダム管理所に設置していた渇水対策支部を解散することについてお知らせいたします。

安倍川渇水の概要は資料1、大井川渇水の概要は資料2のとおりです。

参考：渇水対策支部設置日数 安倍川103日間、大井川109日間

2. 配布先：静岡県政記者クラブ

■問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局
静岡河川事務所

副所長 さいき まさくに
齊木 雅邦
占用調整課長 もちづき けいすけ
望月 敬介

電話 (054) 273-9100
FAX (054) 273-1213

長島ダム管理所

管理所長 たけうち ひろし
竹内 宏
専門官 いわこし としき
岩越 俊樹

電話 (0547) 59-1021
FAX (0547) 59-1026



※ 同様の内容は下記HP「記者発表」でご覧いただけます。

<http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/>

<https://www.cbr.mlit.go.jp/nagashima/>

渇水状況

- ・静岡河川事務所では、瀬切れの断続的な発生のため昨年12月10日より渇水対策支部を設置し河川監視を強化してきました。また、静岡市では1月19日から安倍川渇水対策準備室を設置し、節水の呼びかけが行われました。
- ・その後、2~3月の降雨は416mm・平年比115%程度(3/22現在)で、発生していた瀬切れが解消されるなど流況が改善し、3月15日に静岡市の安倍川渇水対策準備室が解散されたため、3月22日17時より渇水対策支部を解散します。

河川の流況

・安西橋下流側(瀬切区間ア)



今年1/3
瀬切状況
←



今年3/19
流況状況
→

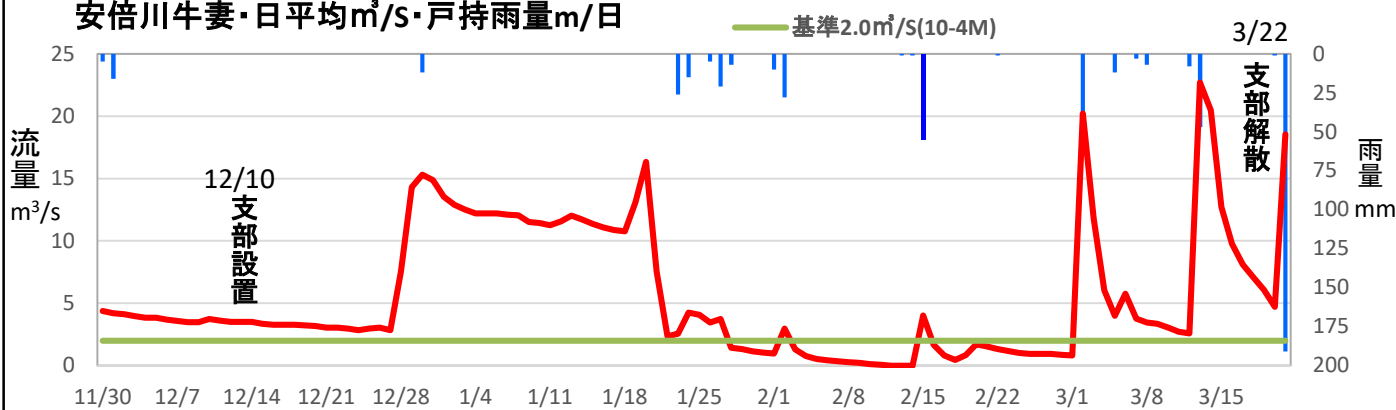
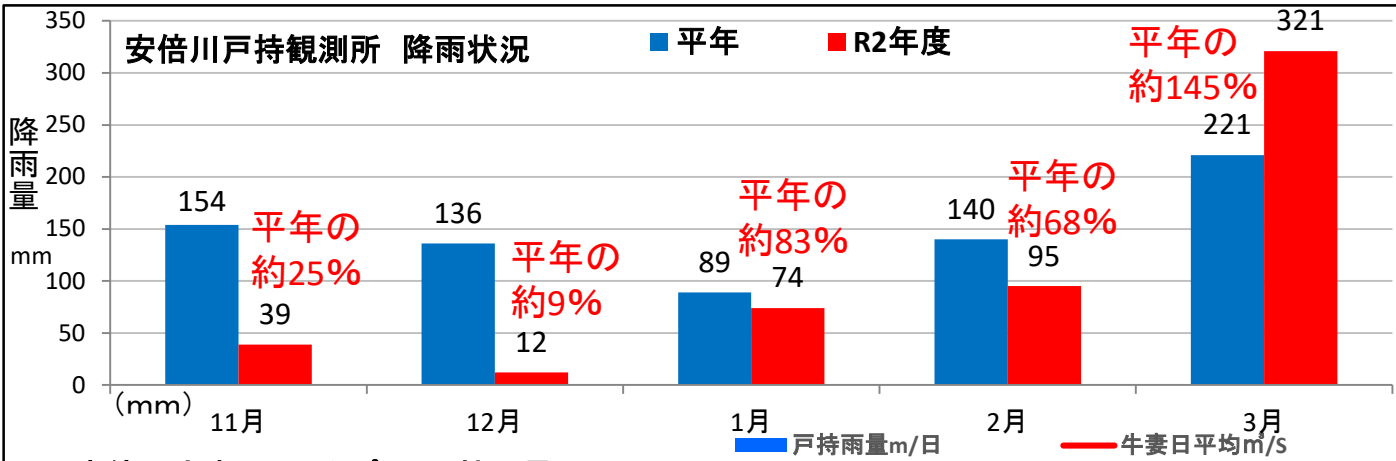
安倍川の瀬切れ発生個所と状況



瀬切発生状況

区間ア 11/30 ~ 2/2 2/8 ~ 2/15 2/22 ~ 3/3
区間イ 12/2 ~ 2/2

安倍川戸持観測所地点の降雨、牛妻観測所の流況等



渇水状況

- ・静岡河川事務所と長島ダム管理所は、流況悪化のため昨年12月4日より渇水対策支部を設置し、河川監視を強化してきました。また大井川水利調整協議会では、1月15日より取水制限が行われていました。
- ・その後、2~3月の降雨は389mm・平年比98%程度(3/22現在)で、神座地点及びJR橋地点等の流況が改善し、本日正午に大井川水利調整協議会による取水制限が解除されたため、3月22日17時より渇水対策支部を解散します。

河川の流況



大井川用水水路橋上流側(21.0km付近)(3月22日)

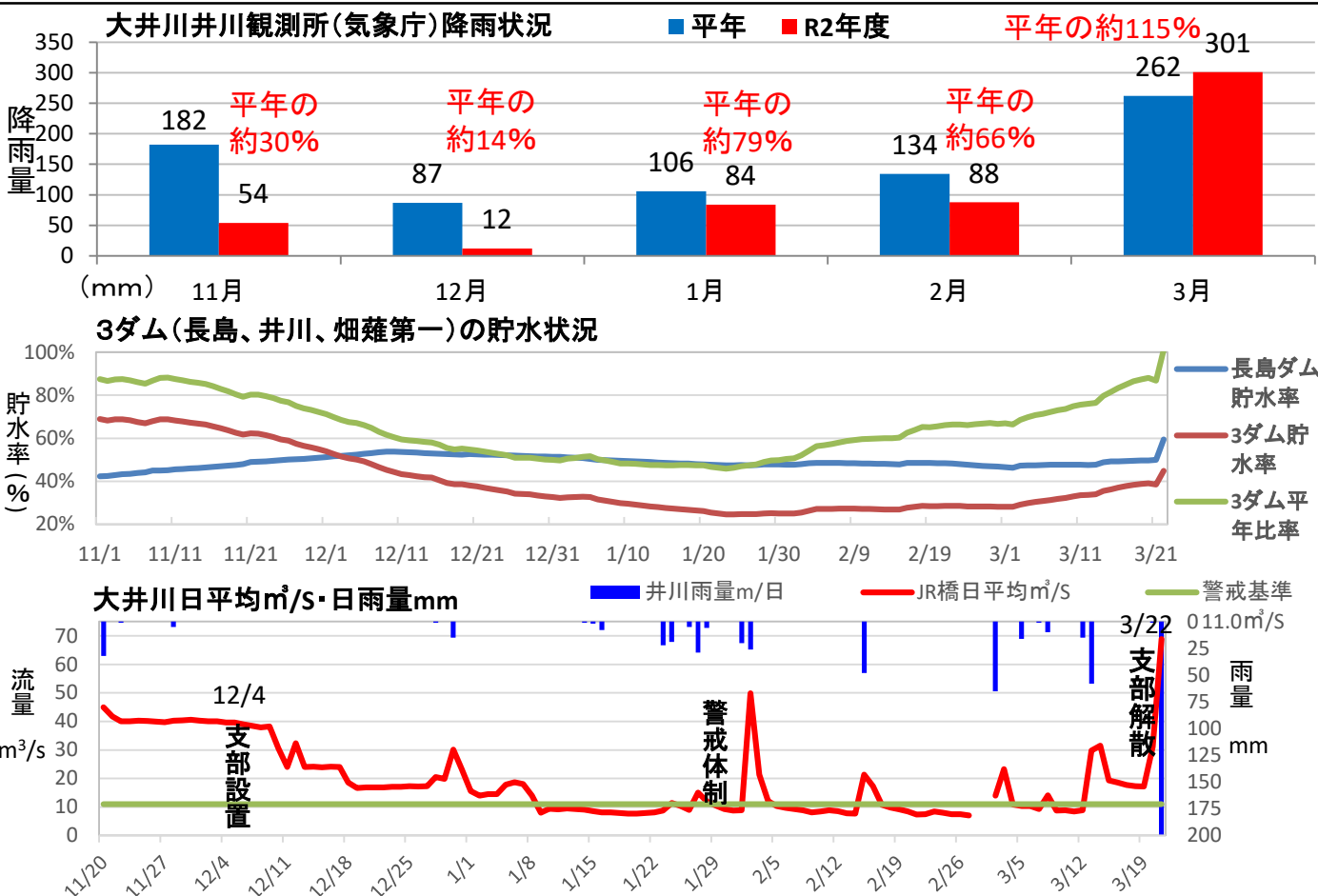


長島ダム(3月22日)

大井川から取水した水の供給先



井川観測所地点の降雨、3ダム(長島ダム、中部電力畑薙第一ダム・井川ダム)の貯水状況等



水質調査の概要

長島ダムからの補給

長島ダムでは、大井川下流部の水質の悪化による環境への影響対応のため、令和3年2月22日から3月2日まで9日間及び、3月9日から3月12日までの3日間、ダムから2回の補給を行いました。

長島ダムからの補給は、中部電力発電施設の導水路を経由し、川口地点(島田市身成地先)から大井川本川に放流しました。

水質調査の概要

濁水を受け静岡河川事務所では、水質調査や流量観測などの頻度を増やすなど、大井川本川の監視体制を強化しています。水質調査は、4つの生活環境項目を週1回、神座(島田市神座地先)と富士見橋(吉田町大幡地先)で実施しています。「生活環境項目」とは、川や海などの水の「汚れ」について、物理的(pH、SS等)な面、あるいは生物の生育環境(BOD、DO等)の面からみた水質の環境基準が設定されている項目です。

大井川での水質調査地点



赤字: 水質調査地点
緑字: 流量観測地点

4つの生活環境項目

pH: 水素イオン濃度指数(Hydrogen Ion Concentration Index)

水溶液の酸性、アルカリ性の度合いを表す指標です。pHが7のときに中性、7を超えるとアルカリ性、7未満では酸性を表し、河川水は通常pH6.5-8.5を示します。流域の地質、生活排水などの人為汚染、夏期における植物プランクトンの光合成等によって変化します。

DO: 溶存酸素

(Dissolved Oxygen)

水中に溶解している酸素の量です。一般に魚介類が生存するためには3mg/L以上、好気性微生物が活発に活動するためには、2mg/L以上が必要であり、それ以下では悪臭物質が発生します。酸素の溶解度は水温、塩分、気圧等に影響され、水温の上昇につれて小さくなります。

SS: 「浮遊物質」あるいは「懸濁物質」

(Suspended Solid)

水中に浮遊又は懸濁している直径2mm以下の物質の量です。プランクトンなどの生物の死骸や糞やその分解物、これらに付着する微生物などの有機物、粘土微粒子などの無機物が含まれています。SSの値が大きいほど、水の透明度などの外観が悪化するほか、魚のえら呼吸や水中植物の光合成に影響することもあります。

BOD: 生物化学的酸素要求量

(Biochemical Oxygen Demand)

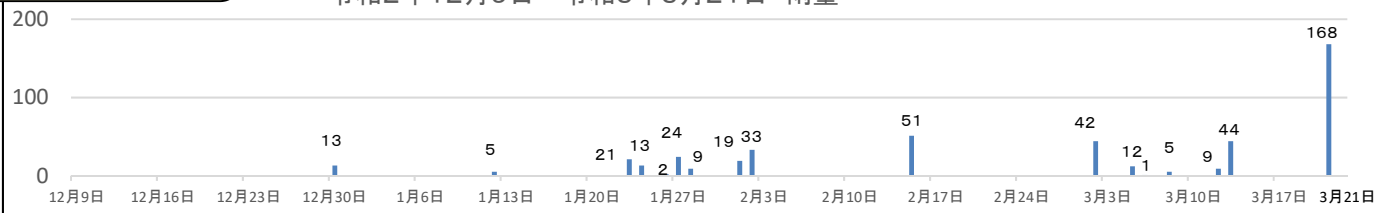
水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素量です。10mg/L以上で悪臭の発生等がみられます。

水質調査結果の概要

速報値

雨量(上川根)

令和2年12月9日～令和3年3月21日 雨量



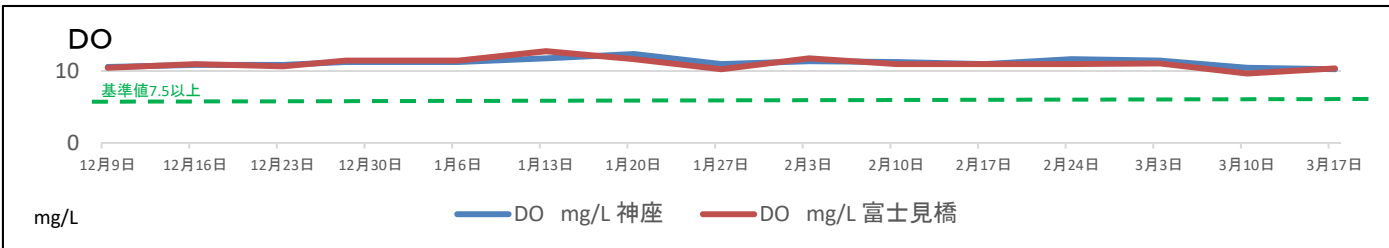
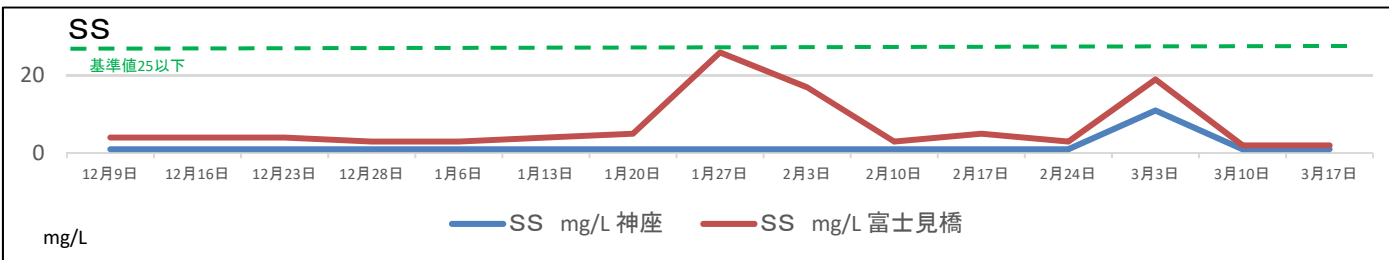
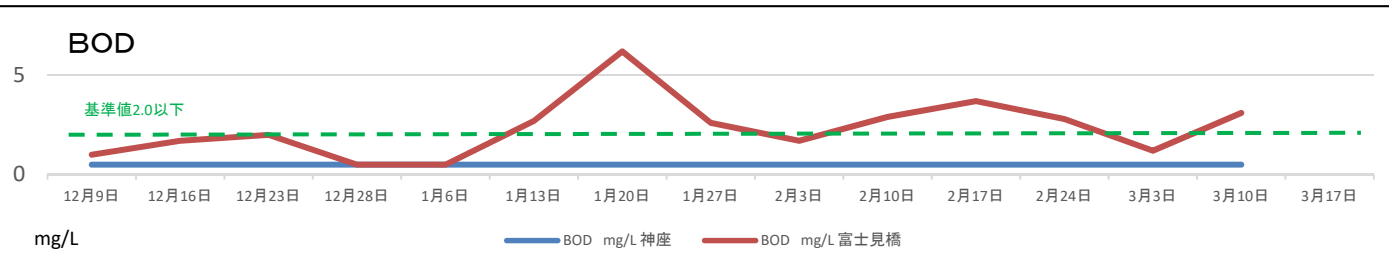
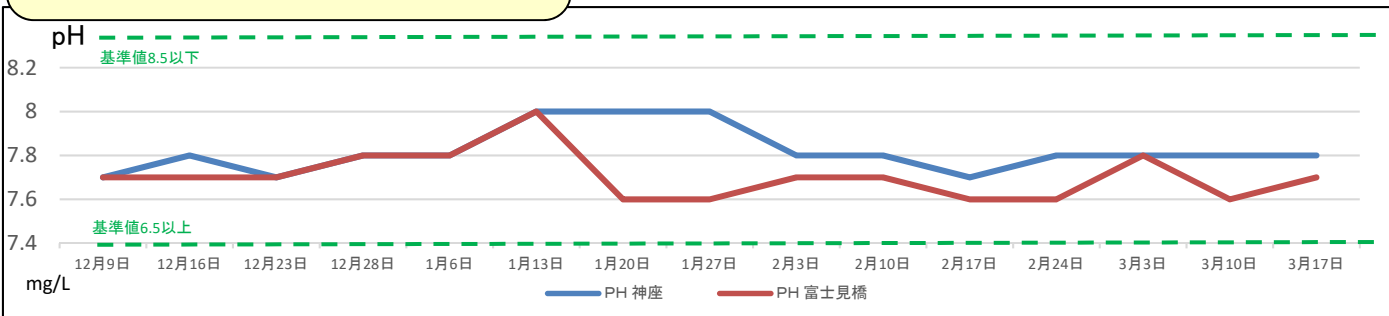
流量(JR橋地点)

令和2年12月9日～令和3年3月21日 流量(9時値)



水質調査の結果(富士見橋地点)

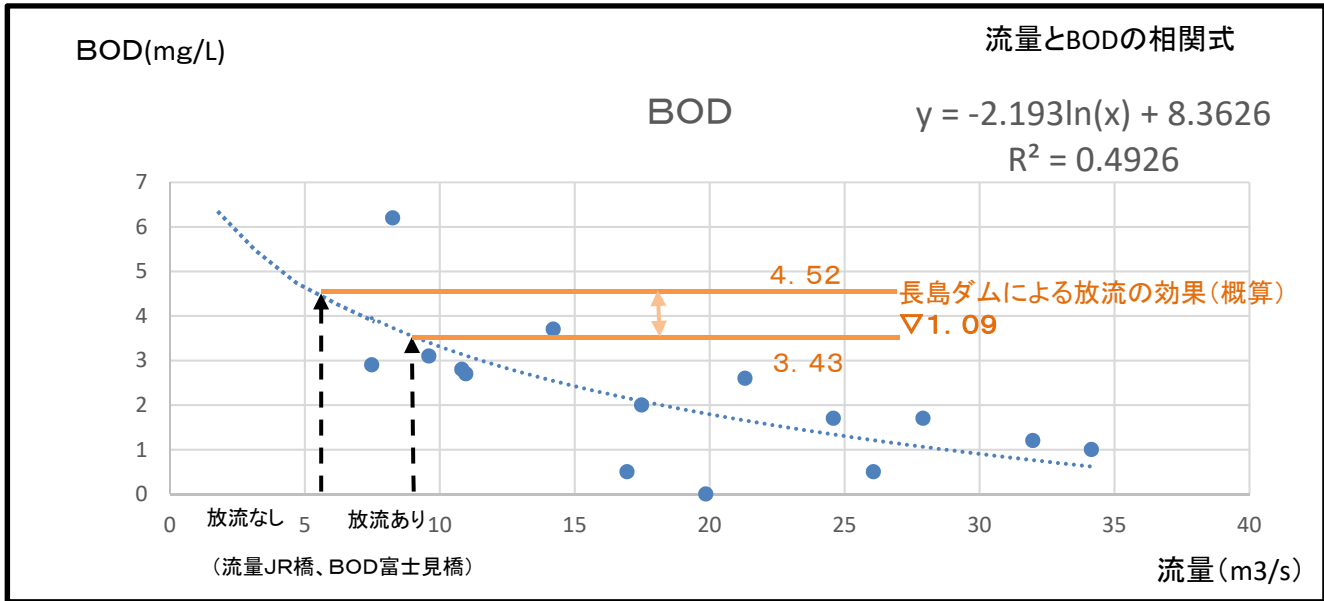
令和2年12月9日～令和3年3月17日 水質



- ・PH、SS、DOについては、期間を通じて概ね環境基準値を満足している。
- ・一方BODについては、富士見橋地点において、流量が少ない時期に環境基準が上回るなど濁水による水質の悪化が確認された。

流量とBODの相関(富士見橋地点)

3月9日～12日 長島ダム2回目 放流



Ⓐ 長島ダム放流の有無による水質改善効果

3月12日流量とBOD(BOD:上図相関式からの算定値)
(ダム放流後の3月12日17時の値を算定)

	流量m³/s	BODmg/L
放流なし	5.77 ※	4.52
放流あり	9.48	3.43
BODの数値偏差		1.09

※「放流無し」の流量は、河川の流量(放流あり)9.48m³/sからその時点の長島ダムからの放流量(3.71m³/s)引き推定した。
(9.48-3.71=5.77)

- ・長島ダムでは3月9日12時から3月12日17時にかけて補給のための2回目の放流を実施しました。
- ・放流期間中、JR橋地点で最も流量が少なかったのは、3月9日12時の8.24m³/sでしたが、長島ダムからの放流により、3月12日17時には、9.48m³/sまで回復しました。
- ・長島ダムから放流を行った事により、魚類等の生息環境、河川景観及び水質の改善に寄与したと考えられます。
- ・水質の改善効果としては、上表ⒶのBODの数値偏差(1.09)と推定されます。

問合せ先

全般に関する問合せ先

静岡河川事務

調査課長 054-273-9104

占用調整課長 054-273-9106

長島ダム放流に関する 問合せ先

長島ダム管理所

専門官 0547-59-1021